

～～第 8 4 2 5 回～～

井伊谷ウォーク

～H 3 0 . 4 . 2 8～

初夏を思わせる天候に見舞われた朝であった。J R 藤枝駅を 8:37 一路掛川駅に向かう。天竜浜名湖鉄道駅にて参加者の最終チェックをし、予定の逆コースで山行をすることを伝え、一日乗り放題切符を購入し西気賀行きに乗車する。途中から浜松フルーツパークに行くと小学生が乗り込む、隣の席が空いたので座ってもらい、会話をしながら電車の旅の始まりとなる。西気賀駅は奥浜名湖が近く吹く風も爽やかであった。駅裏側から薬師堂に向かう。薬師堂本尊である薬師如来の台座お銘文から天保 6 年(1835 年)に再建されたと言う事が分かっている。山間の岩根集落に小さな薬師堂があり隣には秋葉山常夜灯が立っている。何処か懐かしくほっとする佇まいであった。11:40、2 番目の目的地、細江神社に向かう途中コンビニエンスストア近くの公園で昼食を摂る。30 分休憩後、姫街道(国道 362 号)を細江神社に向かい進む道路は太陽に熱しられ悲鳴を上げているようで、照り返しで眩しさを感じた。国道に寄り添うように自転車・歩行道・小川が流れ小さな亀が泳いでいた。途中水分補給をして細江の街を歩き細江神社に着く。鳥居をくぐり左手には数百年を超すだろろう楠の切り株が見られた。細江神社は姫街道沿いにあり、古くは牛頭天王社と称して、地元では「天王様」と呼び親しまれていた。故事から地震災難厄除けの神様になっている。浜名湖の入口にあり湖の守護神であった角避比古(つのさくひこ)神社が明応 7 年(1498 年)の大地震と津波で流没、気賀に流れ着いたご神体を祀った神社である。神社を後に国道 362 号を気賀駅方面へ途中左折して龍潭寺へ向かう道路辺に草花が植えられ楽しませてくれた。井伊直虎ゆかりの寺、龍潭寺駐車場は土曜休みと思われる人たちの車で埋まっていた。500 円の拝観料金を払い入館。東海随一の名園として多くの人に親しまれている、山水景観を見ながら 10 分間スピーカーから流れる説明を傾聴。その後墓石を見ながら当時に思いを寄せる。龍潭寺近くに井伊氏発祥伝説が残る井戸がある。区画整理された田んぼを見ながら、次の實相寺を目指す、途中トイレ・給水休憩をする。湖北高校の脇道を急な山手を上り山門をくぐる。實相寺では枯山水の庭園を見ながら 10 分間のスピーカーから流れる説明に耳を傾ける。かつて交通の要所だった奥浜名湖の文化の高さを物語る寺院の一つであった。寺を後に天浜線金指駅より電車に乗り J R 掛川駅に向かう。参加された皆様ご苦労様でした。

参加者：16 名（静岡東 3、静岡北 1、藤枝 12）

天候：晴れ

コースタイム：藤枝発 837++掛川着 905、天浜線掛川発 958++西気賀着 1125…薬師堂 1135-45…細江神社 1225-45…龍潭寺 1335-1540…實相寺 1630-50…天浜線金指駅発 1704++ J R 掛川発 1836++藤枝着 1903

記録：藤枝支部 H